

初心忘るべからず

校長 館岡 靖哲

春風がとても気持ちの良い、温かな季節となりました。地域・保護者の皆様には、ますますのご健勝をお喜び申し上げます。また、日頃より本校における教育の充実・進展のために、ご支援、ご協力を賜りますことに厚く御礼申し上げます。

さて、本日は希望を胸に265名の新1年生が入学し、全校生徒833名、1年生7学級、2年生8学級、3年生7学級、特別支援学級2学級で新しい学校生活がスタートしました。始業式では、2、3年生に向けて、皆で協力して与野東中学校の新たな伝統を創りあげてほしいということ、入学式では新入生に向けて本校の校訓「東風薫る」に関連し、温かく見守ってくださる地域・保護者の方々に対する感謝の気持ちを忘れないでほしいこと、そして郷土（中央区）の偉人である『武井 武（たけい たけし）』博士が重視していた「創意無限」について紹介し、中学校生活の様々な場面で考える習慣を身に付けてほしいことなどを伝えました。どの学年の生徒も式に臨む態度は大変立派なもので、生徒一人ひとりの「知・徳・体」についてバランスよく伸ばしていくことの責任を強く感じ、身が引き締まる思いです。

ところで「最初の決意・目標を忘れてはならない」という意味でよく使われる言葉に、「初心忘るべからず」という諺があります。これは、室町時代の能楽の大成者『世阿弥』の言葉だとされています。

しかれば、当流に、万能一徳の一句あり。初心不可忘（しょしん わするべからず）
この句、三箇条の口伝あり。

是非初心不可忘（ぜひのしょしん わするべからず）

時々初心不可忘（じじのしょしん わするべからず）

老後初心不可忘（ろうごのしょしん わするべからず）

引用：『花鏡』奥段

「初心」が三度も出てきます。最初の「初心」は、「最初に味わった未熟さや失敗の実感、それを乗り越えて身に付けたもの、その感覚」。さらに、「時々の初心」「老後の初心」は「その時々積み重ねて身に付けたもの、その実感、新たな思い」という意味があると言われています。

つまり、「初心」とは、最初の段階の「決意」だけではなく、「日々の生活の中で味わったもの、身につけたもの、その実感や感覚」であり、このことを忘れてはならないとしています。この「初心忘るべからず」は、芸の上達に励む、愛する弟子たちへ贈る言葉であったようです。考えてみると、私たち自身、年齢に関係なく、常に新しい世界、新しいステージがあり、新しい挑戦があります。未熟であったころの自分、そして今も未熟であることを自覚し、自分の成長や変化をとらえながら、新しい自分を描く、そのような意味に受け取れます。

私事ですが、校長として本校に勤務して2年目となります。昨年度の経験を活かし、初心を忘れずに引き続き地域・保護者の皆様に信頼される学校づくりに努めてまいります。何卒よろしく願いいたします。

本年度の出発にあたり、本校の校訓、学校教育目標、目指す学校像、生徒像等をお知らせいたします。この目標に向けて、本校教職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。

☆校 訓

『東風（こち）薫る きれいな東中 光る汗』

「東風（こち）」とは、春に東方から吹く暖かい風のことであり、生命をはぐくむ風である。春の暖かい風があらゆる生命の息吹を促すように、「東風（こち）」は与野東中学校が地域の皆様方から深い恩恵を賜っていることを意味している。また、「薫る」はお蔭をこうむって栄えることである。「東風薫る」は、地域の皆様から春の風のような温かい支援を受けながら、与野東中学校がますます栄えていくことに、心から感謝の意を表すものである。

「きれいな東中」は、校内が美しく整っていることはもちろん、その他にも目に見え、耳に聞こえるものすべてが心地よく、人の行いや態度も好ましく理想的なことを意味している。とりわけ、さわやかな朝のあいさつ、心の通う小さな親切、自ら進んで行うボランティア活動等はとりわけ「きれい」である。「きれいな東中」とは、本校で生活する人の心のきれいさを目指すものである。

「光る汗」は文字どおり、学習・スポーツ・文化活動・ボランティア活動に、何事にも一生懸命励む尊い姿を象徴している。一人ひとりの生徒の真摯な活動に「光る汗」こそ、まさに「きれい」なのであり、地域や保護者からの「東風」に応えるものである。

☆学校教育目標

『希望（ゆめ）を実現する生徒 ～学べ、磨け、輝け～』

☆目指す学校像 『誰からも愛され、誇れる学校』

- ・学べてよかった学校（生徒）
- ・通わせてよかった学校（地域や保護者）
- ・勤務してよかった学校（教職員）

☆目指す生徒像

- 自ら学ぶ生徒 **Growth**（一人ひとりの成長を支え、「生涯学び続ける力」を育成する）
 - ・主体的に学習に取り組み、自らを高める生徒
 - ・自ら課題を見つけ、解決できる生徒
- 自ら磨く生徒 **Grit**（やり抜く力で「真の学力」を育成する）
 - ・心身を鍛え、何事にも挑戦する生徒
 - ・あきらめず、やり抜く生徒
- 自ら輝く生徒 **Global**（「国際社会で活躍できる力」を育成する）
 - ・思いやりを持って人とかかわる生徒
 - ・自分を律し、未来を切り拓く生徒

※さいたま市では「PLAN THE NEXT 3つのGで日本一の教育都市へ」という考えに基づき、様々な取組みを戦略的に展開しています。目指す生徒像にある Growth、Grit、Global がさいたま市の掲げる3つのGとなります。

☆特色ある教育活動

- ・東風チャレンジスクールの推進
- ・特別支援学級の生活単元学習による学校ファームの実施と充実
- ・小中一貫教育の推進
 - *生徒会による小学校との合同あいさつ運動
 - *小中合同の生徒指導委員会、教育相談委員会、研修会、授業研究会の開催
 - *中学校教員による小学校での特別授業の実施
- ・生徒や教職員の積極的な地域の行事参加